

# 令和7年度 公募 スマートバイオ創薬等 研究支援事業

公募期間 令和7年1月15日（水）  
～令和7年2月13日（木）正午

日本医療研究開発機構（AMED）  
創薬事業部 医薬品研究開発課

# スマートバイオ創薬等研究支援事業 令和7年度 公募枠と領域



| 公募枠   |           | 領域                          |
|-------|-----------|-----------------------------|
| 【2-1】 | 複合型の研究開発  | 要素技術の組み合わせによる<br>モダリティの高機能化 |
| 【2-2】 | 疾患応用の研究開発 | 疾患応用研究を組み合わせた<br>革新的シーズの創出  |
| 【2-3】 | 萌芽的な研究開発  | 若手育成枠                       |

# 目次

- 本資料は、公募要領の抜粋となります。
- 各ページの右上には公募要領のページが記載されています。

| 項 目         | 当資料の<br>該当ページ | 公募要領の<br>該当ページ |
|-------------|---------------|----------------|
| 事業について      | P.4～P.7       | P.1～P.2        |
| 公募の概要       | P.8～P.13      | P.3～P.13       |
| 審査項目と観点     | P.14          | P.27～P.28      |
| 選考スケジュール    | P.15          | P.5            |
| 研究開発提案書の留意点 | P.16～P.20     | P.21～P.25      |
| e-Radについて   | P.21～P.30     | P.31～P.33      |
| お問合せ先       | P.31          | P.67           |

- 詳細につきましては公募要領（スマートバイオ創薬等研究支援事業・令和7年度）を必ずご確認ください。
- 当資料は、AMEDの公募のページにて公開されています。

# 事業の方向性

公募要領 P.1



「スマートバイオ創薬等研究支援事業」（以下「本事業」という。）は、我が国から革新的なバイオ医薬品等を創出し、国際競争力を強化するため、令和6年度から5か年の計画でAMEDが実施する委託事業です。本事業では、バイオ医薬品等（抗体、ペプチド、核酸、遺伝子治療、細胞治療等※）の高機能化に資する基盤技術や、創薬周辺基盤技術（ドラッグ・デリバリー・システム（DDS）、効果・安全性評価、イメージング等）等の要素技術同士の組み合わせ、要素技術と疾患応用研究の組み合わせ等により、優れた創薬シーズの研究及び事業開発を推進するとともに、速やかな臨床応用に繋げることで、我が国発の革新的な高機能バイオ医薬品等の創出を目指します。

本事業は、プログラムスーパーバイザー（以下「PS」という。）、プログラムオフィサー（以下「PO」という。）等の指示の下、本事業を機動的かつ円滑に運営するために必要な支援の実行機関（支援班）を設置し、研究開発課題の推進をします。

※遺伝子治療、細胞治療以外の再生医療や医療機器等を除く。

# 事業の目的

公募要領 P.1



先端的医薬品等開発における我が国の国際競争力を確保するためには、アカデミアの優れた技術シーズを用いて革新的な基盤技術を開発し、企業における創薬に繋げていくことが必要となります。

本事業では、サイエンスに立脚したバイオ創薬基盤技術の開発や、要素技術の組み合わせ、最適化により技術パッケージを確立するとともに、要素技術とシーズを組み合わせることによりシーズの研究及び事業開発を推進し、「臨床ステージアップ」を目指します。

# 事業の目標と成果

公募要領 P.1



本事業の目標は、採択した研究開発課題の成果である有望な技術やシーズを、本事業の最終年度（令和10年度末）までに『臨床ステージアップ』することです。

なお、本事業の最終年度（令和10年度末）までに「臨床ステージアップ」するためには、事業化企業への導出（自ら設立したスタートアップへの導出も含む）が重要であり、それを念頭に置いて中間評価（令和8年度）までに具体的な道筋を示した上で事業を進めてください。

# 事業の目標と成果

公募要領 P.1



## <臨床ステージアップ>

ここでいう臨床ステージアップとは、基本的に、中間評価（令和8年度）までに臨床試験に導入する候補品の選定が終了し、最終事業年度末（令和10年度末）に臨床試験に移行可能な研究段階に到達していることを指します。当該達成については、個別案件ごとに、研究開発代表者から提出される蓋然性の根拠資料（進捗状況に応じて、非臨床試験の充足性、バイオ医薬品等の製造プロセス開発・品質評価・分析・薬事等のバイオ医薬品等開発（CMC；Chemistry, manufacturing and control）の状況、独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）との対面助言記録、出口戦略に係る資料等）に基づき、PSPO会議において、包括的に審議を行います。臨床ステージアップの達成は、事後評価等における評価の重要な要素となります。

# 公募研究開発課題の概要-1

公募要領 P.6~P.9



## 【2-1】 複合型の研究開発（要素技術の組み合わせ）（複合型研究課題）

下記の(i)、(ii)で示す領域における基盤技術（要素技術）のうち、複数の技術を組み合わせることにより、その研究成果を本事業の最終年度までに臨床ステージアップすることが期待できる研究を対象とします。

- (i) バイオ医薬品等（抗体、ペプチド、核酸、遺伝子治療、細胞治療等※）の高機能化に資する基盤技術に関する研究
- (ii) 上記(i)に代表されるバイオ創薬研究や治療法開発等の周辺基盤技術に関する研究（例えば、ドラッグ・デリバリー・システム（DDS）、効果・安全性評価、イメージング、分析技術等）

※遺伝子治療、細胞治療以外の再生医療や医療機器等を除く。

## 【目標】

採択した研究開発課題の成果である有望な技術やシーズを、本事業の最終年度までに「臨床ステージアップ」することが求められます。

# 公募研究開発課題の概要-2

公募要領 P.6~P.9



## ① 研究費の規模

1年目 1課題当たり

年間上限54,000千円

(間接経費を含まない)

2年目以降 1課題当たり

年間上限43,000千円 (間接経費

を含まない)

## ② 研究実施期間

令和7年5月(予定)~令和10年度末

(但し、令和8年度における中間評価において、

適切な進展や企業連携が認められない、

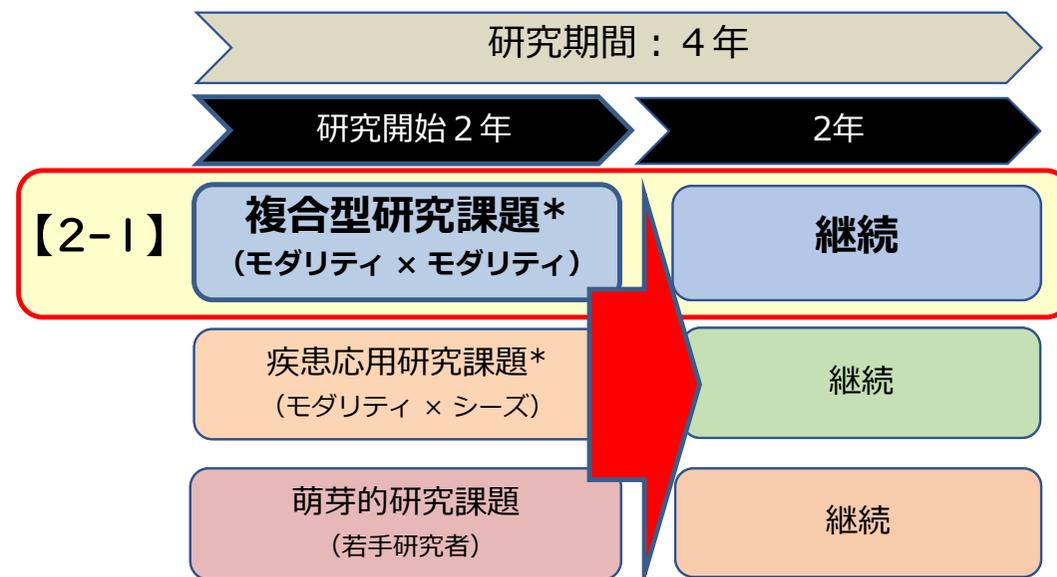
臨床試験に導入する候補品の選定が終了して

いない等と判断された課題については、研究

開始2年度(令和8年度)で研究実施期間が

終了となります。)

## ③ 採択課題数：0~2課題程度



中間評価(ステージゲート評価)

(\*中間評価時点での企業連携は必須)

\*中間評価までに臨床試験に導入する候補品の選定が終了していること。(具体的な候補品の非臨床試験での有効性、予備的な安全性、薬物動態の確認が終了し、候補品の本事業に必要な供給体制が整っていること。)

本事業の目標達成には、臨床ステージアップに繋げるための事業化企業への導出(自ら設立したスタートアップへの導出も含む)が重要であり、中間評価までに具体的な道筋を示すこと。

# 公募研究開発課題の概要-3

公募要領 P.10~P.12



## 【2-2】 疾患応用の研究開発（要素技術とシーズの組み合わせ） （疾患応用研究課題）

下記の(i)、(ii)で示す領域における基盤技術（要素技術）とシーズを組み合わせることにより、その研究成果を本事業の最終年度までに臨床ステージアップすることが期待できる研究を対象とします。

- (i) バイオ医薬品等（抗体、ペプチド、核酸、遺伝子治療、細胞治療等※）の高機能化に資する基盤技術に関する研究
- (ii) 上記(i)に代表されるバイオ創薬研究や治療法開発等の周辺基盤技術に関する研究（例えば、ドラッグ・デリバリー・システム（DDS）、効果・安全性評価、イメージング、分析技術等）

※遺伝子治療、細胞治療以外の再生医療や医療機器等を除く。

### 【目標】

採択した研究開発課題の成果である有望な技術やシーズを、本事業の最終年度までに「臨床ステージアップ」することが求められます。

# 公募研究開発課題の概要-4

公募要領 P.10~P.12



## ① 研究費の規模

1年目 1課題当たり  
年間上限97,000千円  
(間接経費を含まない)

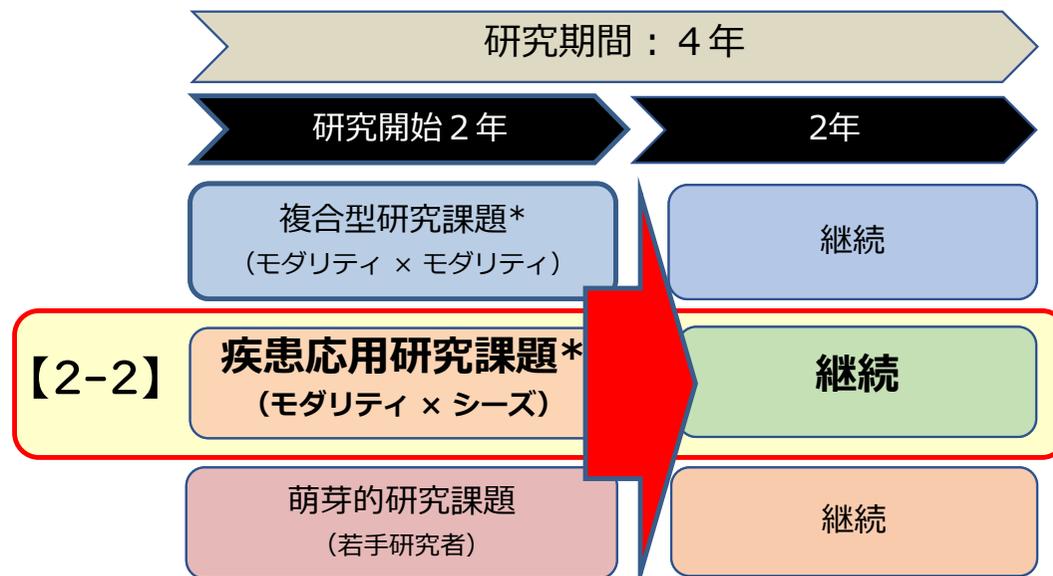
2年目以降 1課題当たり  
年間上限78,000千円 (間接経費  
を含まない)

## ② 研究実施期間

令和7年5月(予定)~令和10年度末

(但し、令和8年度における中間評価において、適切な進展や企業連携が認められない、臨床試験に導入する候補品の選定が終了していない等と判断された課題については、研究開始2年度(令和8年度)で研究実施期間が終了となります。)

## ③ 採択課題数：0~1課題程度



中間評価(ステージゲート評価)  
(\*中間評価時点での企業連携は必須)

\*中間評価までに臨床試験に導入する候補品の選定が終了していること。(具体的な候補品の非臨床試験での有効性、予備的な安全性、薬物動態の確認が終了し、候補品の本事業に必要な供給体制が整っていること。)  
本事業の目標達成には、臨床ステージアップに繋げるための事業化企業への導出(自ら設立したスタートアップへの導出も含む)が重要であり、中間評価までに具体的な道筋を示すこと。

# 公募研究開発課題の概要-5

公募要領 P.12~P.13



## 【2-3】萌芽的な研究開発（若手研究者）（萌芽的研究課題）

下記の(i)、(ii)で示す領域における研究領域において、次世代の基盤技術を創出すべく、従来の研究の延長線上にはない挑戦的で独創性の高い研究を対象とします。

- (i) バイオ医薬品等（抗体、ペプチド、核酸、遺伝子治療、細胞治療など）の高機能化に資する基盤技術に関する研究
- (ii) 上記(i)に代表されるバイオ創薬研究や治療法開発等の周辺基盤技術に関する研究（例えば、ドラッグ・デリバリー・システム（DDS）、効果・安全性評価、イメージング、分析技術等）

## 【目標】

採択した研究開発課題の成果である有望な技術やシーズが、臨床ステージアップや事業化（スタートアップ創出、企業導出等の出口戦略）に繋がる等、将来的な発展が見込まれることが望ましい。

# 公募研究開発課題の概要-6

公募要領 P.12~P.13



## ① 研究費の規模

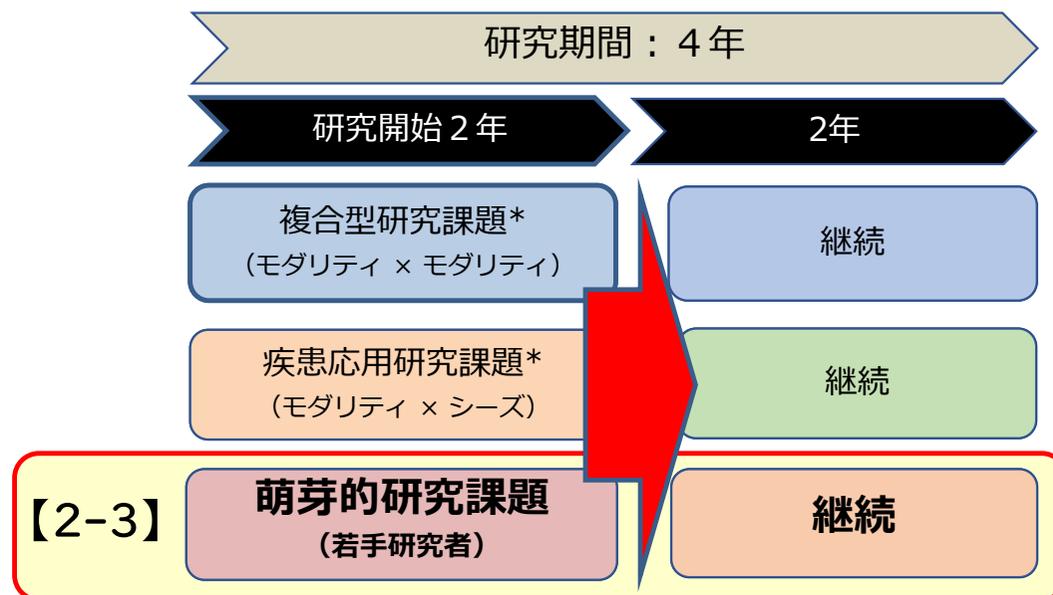
1課題当たり年間上限**10,000千円**  
(間接経費を含まない)

**2年目以降**は、1課題当たり  
年間上限**8,000千円** (間接経費を  
含まない)

## ② 研究実施期間

**令和7年5月(予定)~令和10年度末**  
(但し、令和8年度における中間評価に  
おいて、適切な進展が認められない等と  
判断された課題については、  
2年間で研究実施期間が終了となります。)

## ③ 採択課題数：0~3課題程度



中間評価 (ステージゲート評価)

# 審査項目と観点

公募要領 P.27



本事業における課題の採択に当たっては、提案書類について以下の観点に基づいて審査します。分担研究機関を設定した研究開発課題を提案する場合は、研究開発を遂行する上での分担研究機関の必要性と、分担研究機関における研究開発の遂行能力等も審査の対象となります。

| 審査項目                      | 観点   |
|---------------------------|--|
| (A) 事業趣旨等との整合性            | ・ 事業趣旨、目標等に合致しているか   |
| (B) 科学的・技術的な意義及び優位性       | ・ 現在の技術レベル及びこれまでの実績は十分にあるか<br>・ 独創性、新規性、革新性を有しているか<br>・ 医療分野の進展に資するものであるか<br>・ 新技術の創出に資するものであるか<br>・ 社会的ニーズに対応するものであるか<br>・ 医療分野の研究開発に関する国の方針に合致するものであるか |
| (C) 計画の妥当性                | ・ 全体計画の内容と目的は明確であるか<br>・ 年度ごとの計画は具体的なもので、かつ、実現可能であるか<br>・ 生命倫理、安全対策に対する法令等を遵守した計画となっているか   |
| (D) 実施体制                  | ・ 申請者を中心とした研究開発体制が適切に組織されているか<br>・ 十分な連携体制が構築されているか<br>・ 申請者等のエフォートは適切であるか<br>・ 不合理な重複／過度の集中はないか   |
| (E) 所要経費                  | ・ 経費の内訳、支出計画等は妥当であるか   |
| (F) 事業で定める項目及び総合的に勘案すべき項目 | ・ 本事業で求める方向性、目標と成果に適合しているか   |

# 選考スケジュール

公募要領 P.5



## 提案書類の受付期間・選考スケジュール

|                    |                                     |
|--------------------|-------------------------------------|
| 提案書類受付期間           | 令和7年1月15日（水）～<br>令和7年2月13日（木）正午（厳守） |
| 書面審査               | 令和7年2月中旬～令和7年3月上旬（予定）               |
| ヒアリング審査            | 令和7年3月28日（金）（予定）                    |
| 採択可否の通知            | 令和7年4月中旬（予定）                        |
| 研究開発開始<br>（契約締結等）日 | 令和7年5月下旬（予定）                        |

# 研究開発提案書の留意点

# 提案書類

公募要領 P.21



応募には下記の書類を提出してください。研究開発提案書類は、e-Radにて、提出をお願いします。

| No. | 必須/任意                          | 必要な提案書類                                       | 備考                        |
|-----|--------------------------------|---|---------------------------|
| 1   | 必須                             | (様式1) 研究開発提案書                                 |                           |
| 2   | 必須                             | 競合比較表 (別紙1)                                   |                           |
| 3   | 該当する場合は必須                      | 研究開発に密接に係わる知的財産に関する情報を可能な範囲でまとめた書類            | 研究開発に関連する知的財産関連情報がある場合    |
| 4   | 該当する場合は必須                      | ヒト全ゲノムシーケンス解析プロトコール様式                         | ヒト全ゲノムシーケンス解析を実施する場合      |
| 5   | 研究開発代表者の所属機関がスタートアップ企業等の場合は、必須 | 財務状況資料<br>・財務スコアリング<br>・直近3年分の決算報告書<br>・資金繰り表 | ヒアリング対象になった時にAMEDから連絡後に提出 |

AMEDにて用意している提案書類の様式についてはAMEDウェブサイトの公募情報からダウンロードしてください。  
<https://www.amed.go.jp/koubo/>

# 記載時の注意

様式 I



(様式 1)

## 日本医療研究開発機構 スマートバイオ創薬等研究支援事業 研究開発提案書 (案)

|   |  |                         |
|---|--|-------------------------|
| 研究開発課題名<br>(英語表記)                             | 日本語表記  | 〇〇に関する研究開発              |
|   | 英語表記   | Study of 〇〇             |
| 公募名 (事業名)                                     | スマートバイオ創薬等研究支援事業   |                         |
| 公募研究開発課題                                      | <input type="checkbox"/> 【2-1】 複合型研究課題 <input type="checkbox"/> 【2-2】 疾患応用<br><input type="checkbox"/> 【2-3】 萌芽的研究課題 |                         |
| <small>公募要領記載の公募研究開発課題名から1つを選択してください。</small> |  |                         |
| 契約締結日   | ～  | 令和 XX 年 X 月 XX 日 (X 年間) |
| 研究費総額※直接経費のみ                                  | 全研究期間での研究費総額 ( X0.000 千円)  |                         |
| ヒト全ゲノムシーケンス解析                                 | <input type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> 実施しない   |                         |
| <small>※いずれかに☑。実施する場合、ヒト</small>              |  |                         |
| 若手枠の確認<br>(若手枠の設定がある場合)                       | 若手 <input type="checkbox"/>  |                         |
| <small>※若手枠の要件に合致し若手枠とし</small>               |  |                         |
| 氏名  | フリガナ   | 〇〇〇〇 〇〇〇〇               |
|   | 漢字   | 〇〇 〇〇                   |

研究開発費の上限額として規定されている額を超えないようにご注意ください。

全研究期間は最長で令和10年度末までの約4年間ですが、適切な期間を設定ください。

必ずチェックしてください。  
研究開発計画においてヒトの全ゲノムシーケンス解析（次世代シーケンサーを利用した全ゲノムシーケンス解析及び全エクソーム解析）を実施するにあたっては、その解析に用いるプロトコル情報の提出が必須です。

# 記載時の注意

様式 I



## 7. 各年度別経費内訳

※課題申請時に規定されていた予算上限を超えていた場合は不受理とします。

(単位：千円)

| 大項目  |               | 中項目    | R7 年度 | R8 年度 | R9 年度 | R10 年度 | 計 |
|------|---------------|--------|-------|-------|-------|--------|---|
| 直接経費 | 1. 物品費        | 設備備品費  |       |       |       |        |   |
|      |               | 消耗品費   |       |       |       |        |   |
|      | 2. 旅 費        | 旅 費    |       |       |       |        |   |
|      | 3. 人件費<br>・謝金 | 人 件 費※ |       |       |       |        |   |
|      |               | 謝 金    |       |       |       |        |   |
|      | 4. その他        | 外 注 費  |       |       |       |        |   |
|      |               | そ の 他  |       |       |       |        |   |
|      | 小 計           |        |       |       |       |        |   |
| 間接経費 |               |        |       |       |       |        |   |

直接経費小計は申請する研究課題の年間上限額を超えないようにしてください。2年目以降は金額が減りますのでご注意ください。

# ヒト全ゲノムシーケンス解析プロトコール様式



| 【ヒトの全ゲノムシーケンス解析プロトコールについて】   |                       |
|--|-----------------------|
| ※ この申請を行うに当たり、公募要領中の以下の項目内容を必ず熟読してください。その上で、「確認した」ことを回答願います。   |                       |
| ※ 内容に不明な点が生じた場合には、すみやかに担当事務局へ問い合わせてください。   |                       |
| 【確認事項】   | 【確認した】場合には、プルダウンで選択回答 |
| <p>(I) 公募要領 第2章2.6データシェアリングについて：<br/> <small>AMEDで、AMEDが運営する共同データベースへの共同データベース登録を目的に、AMEDが提供したプラットフォーム（以下プラットフォーム）の登録を求めます。<br/>                 プラットフォームは以下の共同データベース（データベース）から選択してください。既にプラットフォームで共有データを持っている場合は、AMEDが提供する共同データベースの登録を求めず、AMEDが提供する共同データベースに登録して、既にプラットフォームで共有データを持っているデータベースを使用して生成したシーケンスデータを送信してください。</small></p> <p>そのため、研究開発計画においての全ゲノムシーケンス解析（注1）を実施するにあたっては、その解析に用いるプラットフォームの登録を求めます（注2）。<br/>                 全ゲノムシーケンス解析のプラットフォームについては、特に下記の項目について明記することが求められます。<br/>                 ・プラットフォーム名（キット名、断片長等）<br/>                 ・シーケンス反応（キット名、リード長等）<br/>                 ・解析装置の機種名（機種名、型番等。外注の場合は外注先も記入）<br/>                 ・ゲノムコントロールの方法<br/>                 ・リファレンスゲノムとマッピング及びアセンブルの方法</p> <p>また、AMEDが運営するヒトの全ゲノムシーケンス解析は、外部機関等に解析を委託するが選択に及びます。当該プラットフォームに用いる機体、当該プラットフォームの登録情報（注1）を共同データベースに登録するまでの段階で生成されたデータ（注1）の登録については、以下の場合は、既に登録済みであることが確認でき、改めて登録を求めません（注2）。</p> <p>① 全ゲノムシーケンス解析結果をその事業が関係する共同データベースへ論文発表、学会発表等<br/>                 国際共同データベースへの報告等、正当な理由があるとして既に研究者（AMEDが登録）AMEDが関係する共同データベースに登録して認められる場合<br/>                 ② AMEDが提供する共同データベースに既に登録済みであるデータ（注1）及び 既に共同データベースに登録済みであるデータ（注1）を登録する場合は、AMEDの承認を受けることが必要です。<br/> <small>※ <a href="https://www.amed.go.jp/irodo/06/0603070603.pdf">https://www.amed.go.jp/irodo/06/0603070603.pdf</a></small></p> <p>(注1) 全ゲノムシーケンス解析<br/>                 ここでは、次世代シーケンサーを利用した全ゲノムシーケンス解析及び全エクソーム解析を指します。なお、次世代シーケンサーを用いる解析のうち、全ゲノムまたは全エクソーム以外を対象とする全ゲノム解析や、アレイ解析、サンガー法によるシーケンス解析は含みません。<br/>                 (注2) 厚生労働省の「共同データベースの登録ガイドライン（注1）（NBIN0）」におけるヒトの全ゲノムシーケンス解析の取扱いについては、事業方針に記載します。<br/> <small>※ 共同データベースの登録ガイドライン（注1）については、<a href="https://www.amed.go.jp/irodo/06/0603070603.pdf">https://www.amed.go.jp/irodo/06/0603070603.pdf</a></small></p> | (選択してください)            |
| <p>(II) 公募要領 第4章4.1スケジュール・審査方法等：<br/>                 (注3) ヒト全ゲノムシーケンス解析を実施する場合で、ヒト全ゲノムシーケンス解析プロトコール様式の提出がない場合は、不要になります。</p>   | (選択してください)            |
| <p>(III) 公募要領 第5章5.1.4応募に必要な提案書類：<br/>                 (注4) 提出する提案書類は、ヒト全ゲノムシーケンス解析プロトコール様式。<br/>                 ※ ヒト全ゲノムシーケンス解析を実施する場合</p>   | (選択してください)            |
| <p>(IV) 公募要領 第5章5.1.3 提案書類の様式及び作成上の注意：<br/>                 (注5) 別冊となる書類として、<br/>                 ① ヒト全ゲノムシーケンス解析プロトコールが、既に登録されている条件を満たさない提案</p>   | (選択してください)            |
| <p>(V) 公募要領 第5章5.2 研究開発提案書以外に必要な提出書類等について：<br/>                 (注6) ヒト全ゲノムシーケンス解析プロトコール様式。<br/>                 ヒト全ゲノムシーケンス解析を実施する場合、ヒト全ゲノムシーケンス解析プロトコールの提出が必要になります。シーケンスデータプラットフォーム情報の詳細については、第2章の「ヒト全ゲノムシーケンス解析プロトコール」に記載されています。</p>  | (選択してください)            |
| <p>(VI) 研究開発提案書：<br/>                 (注7) ヒト全ゲノムシーケンス解析プロトコールの提出は、事業方針に記載します。<br/>                 ※ 共同データベースに登録済みであるデータ（注1）を登録する場合、ヒト全ゲノムシーケンス解析プロトコール様式を提出。</p>   | (選択してください)            |
| 【説明】   | 【回答】                  |
| 事業名<br>研究開発課題名<br>研究代表者名<br>ヒト全ゲノムシーケンス解析（全エクソーム解析を含む）を実施するか<br>(はい/いいえ)<br>ライブラリー作成（キット名、断片長等）<br>シーケンス反応（キット名、リード長等）<br>解析装置の機種名（機種名、型番等。外注の場合は外注先も記入）<br>ゲノムコントロールの方法<br>リファレンスゲノムとマッピング及びアセンブルの方法  |                       |

研究開発計画においてヒトの全ゲノムシーケンス解析（次世代シーケンサーを利用した全ゲノムシーケンス解析及び全エクソーム解析）を実施するにあたっては、その解析に用いるプラットフォーム情報の提出が必須です。

該当する提案者は、研究開発提案書のヒト全ゲノムシーケンス解析（ヒト全エクソーム解析も含みます）欄の  実施する にチェックを記載し、左記様式へ回答を記載し必ず提出してください。  
 提出がない場合は、提案書類の不受理になります。

公募要領 P.21~P.22, P25

参 考

☐ e-Rad入力マニュアル

# e-Rad登録時の注意点



1. 令和7年度の「スマートバイオ創薬等研究支援事業」への応募は、府省共通研究開発管理システム (e-Rad) を必ず利用してください。
2. e-Radの使用に当たっては、研究機関および研究者の事前登録が必要です。登録手続きに日数を要する場合がありますので、2週間以上の余裕をもって手続きをしてください。また、すでに登録されている方でも異動等により登録情報に変更があった場合には、速やかにe-Rad登録情報を変更し、常に最新の情報となるようにしてください。
3. この文書は応募の流れを簡単に説明するものです。実際に応募する際は、e-Radポータルサイト (<https://www.e-rad.go.jp/>) 上にある「研究者向け マニュアル」をご参照ください。また、同マニュアルは、更新されることがありますので、随時確認してください。
4. 研究開発代表者が申請した段階では応募は完了していません。所属機関のe-Rad事務代表者が承認手続きを終えた段階で応募が完了することに留意してください。
5. 締切直前は応募が混み合い、申請に予想以上の時間がかかったり、登録がスムーズに進まない可能性がありますので、余裕を持った応募を心がけてください。締切を過ぎた応募は受理できません。

**締切 令和7年2月13日（木）正午 【厳守】**

# e-Rad登録時の注意点

- [応募（新規登録）]画面で公募名を必ず確認し、必ず正しい公募に登録してください。素晴らしい提案であっても、公募名を間違えて選択して登録すると、公募の趣旨が異なるために不採択になってしまうことがあります。

## 応募（新規登録）

応募を行うに当たって必要となる各種情報の入力を行います。

タブでの入力欄が表示されます。ご確認ください。

公募名をまず確認

|                      |  |
|----------------------|--|
| 公募年度／公募名             | 2025年度 / 【2-2】疾患応用の研究開発(要素技術とシーズの組み合わせ)                              |
| 課題ID／研究開発課題名         | XXXXXXXX /<br>100文字以内  |
| 一時保存中の課題を配分機関に公開する ? | 必須 <input type="radio"/> 公開する <input checked="" type="radio"/> 公開しない |

基本情報研究経費・研究組織応募・受入状況

基本情報

# 提案書類の登録と 「研究インテグリティに関する情報」の注意事項

## 【基本情報】

基本情報-申請書類

| 名称  | 形式          | サイズ  | ファイル名                          | 削除 |
|---|-------------|------|--------------------------------|----|
| 応募情報ファイル <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">必須</span> | [PDF (PDF)] | 10MB | <input type="text"/> 参照 クリア 削除 |    |
| <b>行の追加</b> <span style="float: right;">選択行の削除</span>                 |             |      |                                |    |
| 名称  | 形式          | サイズ  | ファイル名                          | 削除 |
| 競合比較表 <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">必須</span>    | [PDF (PDF)] | 5MB  | <input type="text"/> 参照 クリア 削除 |    |
| 参考資料<br>ヒト全ゲノムシーケンズ解析プロト  | [PDF (PDF)] | 2MB  | <input type="text"/> 参照 クリア 削除 |    |

[必須]と表示されている提案書類をアップロードしないと登録完了できません。

指定場所に提案書類をアップロードしてください。

## 【応募・受け入れ状況】

チェックしてください。

(兼業や、外国の人材登用プログラムへの参加、雇用契約のない名誉教授等を含む) 現在の全ての所属機関・役職

| (兼業や、外国の人材登用プログラムへの参加、雇用契約のない名誉教授等を含む) 現在の全ての所属機関・役職 | 相手機関の所在地 |
|--|----------|
|--|----------|

誓約状況  
寄付金等や資金以外の施設・設備等の支援を含む、自身が関与するすべての研究活動に係る透明性確保の為に必要な情報について、関係規定等に基づき所属機関に適切に報告しているか。

報告している (「研究者情報」の修正画面より研究インテグリティに関する情報を確認し、誓約状況のチェックボックスをチェックしてください。)

# 提案書類作成時のお願い

「研究開発提案書」、「競合比較表」および、「その他必要書類」を作成して下さい。

- ファイル名について

アップロードするファイル名には 所属先名・氏名を必ず記載してください。

\*研究開発提案書：研究開発提案書\_〇〇大学\_栄目土太郎.pdf

\*競合比較表：競合比較表\_〇〇大学\_栄目土太郎.pdf

※ e-Radへのアップロードは全てPDF形式のみとなります。

# 応募情報の登録（研究経費・研究組織）

基本情報    **研究経費・研究組織**    応募・受入状況

「研究経費・研究組織」のタブをクリックして入力

### 研究経費

年度ごとの経費の登録を行います。  
「1.費目ごとの上下限」を確認しながら、「2.年度別経費内訳」を入力してください。

#### 1.費目ごとの上限と下限

|              | 上限         |
|--------------|------------|
| 直接経費、間接経費の合計 | (設定なし)     |
| 間接経費         | (直接経費の30%) |

#### 2.年度別経費内訳

| 大項目                  | 中項目  | 2024年度                     | 2025年度                     | 合計     |
|----------------------|------|----------------------------|----------------------------|--------|
| 直接経費                 | 直接経費 | <input type="text"/> ,000円 | <input type="text"/> ,000円 |        |
|                      | 小計   | 0円                         | 0円                         |        |
| 間接経費<br>(上記経費の30%以内) | 間接経費 | <input type="text"/> ,000円 | <input type="text"/> ,000円 | 0,000円 |
|                      | 合計   | 0円                         | 0円                         | 0円     |

この欄に直接経費額を入力してください。

この欄に間接経費額を入力してください

# 応募情報の登録（研究経費・研究組織）

**研究組織**

1.申請額（初年度）の入力状況

「1.申請額（初年度）の入力状況」を確認しながら、「2.研究組織情報の登録」の各費目を入力してください。ここで入力した各費目の金額の計は、上記の「研究経費」の「2.年度別経費内訳」で入力した各費目の初年度

「研究経費」で入力した額と「研究組織」で入力した額との差額がゼロにならないと登録が完了しません。

|      | 初年度の申請額 | 研究者ごとの金額合計 | 左記 |
|------|---------|------------|----|
| 直接経費 | 0円      | 0円         | 0円 |
| 間接経費 | 0円      | 0円         | 0円 |

2.研究組織情報の登録

課題に参加するメンバーと、研究メンバーごとの研究経費初年度を入力してください。研究経費は、上の表の「研究者ごとの金額合計」に反映されます。

**行の追加**

| 研究者を検索 | 研究者番号<br>生年月日<br>氏名（年齢）   | 研究機関<br>部局<br>職/職階<br>必須  | 専門分野<br>学位・取得年月日・大学<br>役割分担<br>必須                         | 直接経費<br>間接経費 ?<br>必須                                     | エフ<br>ー<br>（%）<br>必須 |
|--------|---|---------------------------|---|--|----------------------|
|        | 代表者<br>XXXXXXXXX<br>YYYY/MM/DD<br>○○ ○○○<br>(XX歳)<br>(△△△△<br>△△△△) | ○○機関<br>○○部局<br>○○長/○○クラス | <input type="checkbox"/> ○○学位・<br>YYYY/MM/<br>DD・○○<br>大学 | <input type="text"/> ,000円<br><input type="text"/> ,000円 | <input type="text"/> |

この欄に代表者、分担者別の「直接経費」「間接経費」の額を入力してください。

**行の追加** クリックして分担者を追加

選択行の削除

# 直接経費と間接経費に関して

公募要領では、研究費の規模を「**直接経費**」で記載しています。

**※公募要領に規定されている単年度当たり予算上限を超えていた場合は不受理とします。**

間接経費については、研究機関の経理・契約担当者にご相談ください。

間接経費は直接経費の30%（目安）となります。ただし、30%を超えることは出来ません。

## 【例示】

公募の記載例として

研究費の規模：1課題当たり 令和7年度 5,000千円上限（間接経費を含まず）

令和7年度 直接経費5,000千円、間接経費を30%



| 令和7年度 |         |
|-------|---------|
| 直接経費  | 5,000千円 |
| 間接経費  | 1,500千円 |
| 研究費総額 | 6,500千円 |

# 応募手続き完了の確認

- 応募情報の入力完了すると、応募課題のステータスが「応募中/申請中/研究機関処理中」になります。  
※この段階では応募は完了していません。
- 本公募は研究機関の承認が必要な公募です。
- 研究機関の事務代表者が承認してはじめてAMEDに応募ファイルが送られ、「応募中/申請中/配分機関処理中」になります（これで応募完了です）。

締切までに  
「応募中/申請中/配分機関処理中」  
となっていることが必要です。  
(e-Rad上の画面で確認できます)

一時保存中の入力再開など、操作方法の詳細に関しては、  
e-Rad研究者向け操作マニュアルをご参照ください。

# お問い合わせ先



## ■ 公募課題、申請書の記載方法等の問い合わせ

AMED創薬事業部医薬品研究開発課

スマートバイオ創薬等研究支援事業 公募担当

E-mail : [smart-bio@amed.go.jp](mailto:smart-bio@amed.go.jp)

※お問合せは電子メールで、件名に【公募問い合わせ】を最初につけて  
お願いします。 Ex. 【公募問い合わせ】提出書類について

## ■ e-Radシステムの操作方法

e-Radポータルサイトヘルプデスク

Tel: 0570-057-060 (ナビダイヤル)

利用できない場合は 03-6631-0622 (直通)

受付時間 9:00~18:00 (平日※)

※土曜日、日曜日、国民の祝日及び年末年始(12月29日~1月3日)を除く